謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆さまには、清々しく新年をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

今年の干支は亥となっております。亥年には無病息災の意味のある年であるとともに、亥とされるイノシシの肉には、万病を予防する効果があるといわれております。

また、イノシシというと猪突猛進という言葉で表現されているように、一つのことに向かってまっすぐ猛烈な勢いで突き進むとされております。

町民の皆さまには、無病息災で病気になりにくい年とはされておりますが、決して無理をなさらず健康で幸せな年になりますように、願うものでございます。

私も2期目を担当させていただいておりますが、想定されておりました人口減少においては、出生数の増加や移住者・Uターン者の増加にともないまして、一定減少傾向が鈍化している状況にあることや、起業・創業の動き、町内事業者の事業活動の拡大など、あちこちに魅力のあるまちづくりの取り組みが推進されている状況にあるなど、好循環の兆しも見えております。

今後におきましても、引き続き活力ある四万十町の創造に向けて、全身全霊で取り組む所存でございますので、皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

改めまして、本年も皆さまにとりまして幸多き年になりますよう、ご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

平成三十一年　元旦

四万十町長

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆さまには、ご健勝で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は「西日本豪雨」や全国各地での地震、台風、記録的猛暑など自然災害の多い年でしたが、本町も、いつ発生するか分からない「南海トラフ地震」への対応は喫緊の課題です。議会も行政と協働して対応してまいります。

また、山積する課題について各委員会で取りまとめ、町民の皆さまの付託に応えるために努力をいたします。

今後も議会として町民の声を政策の中に反映できるよう、さらなる町民福祉の向上に努めてまいりますので、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年も町民の皆さまにとって幸せ多い一年でありますよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成三十一年　元旦

四万十町議会議長

今月の人おこし

お客さんが喜んでくれた時「役に立ってる！」って実感します！

▲お客さんのニーズを丁寧に聞き取る

本堂交差点のすぐ南にある鍛冶屋さん「黒鳥鍛造工場」。梶原さんは、ここ黒鳥鍛造工場の6代目。店内でお話をうかがっているほんの30分ほどの間に、ご近所の方がお一人、またお一人、包丁を取りに来られました。自宅で使われている包丁のメンテナンスをしてもらっているとのこと。「自分でできることもあるけど、やっぱり本職は違う！」。皆さん「ちょっとお豆腐を買いに来た」みたいな気軽さで訪れて、梶原さんも「出来ちゅうよ～」と応じる。受け取ったご婦人は「あ～、これで切れる切れる！」と満足そうに帰っていく。その様子から、地域の鍛冶屋さんとして住民の生活に自然に溶け込んでいることがよくわかります。

梶原さんは、お父さんに弟子入りしてこの黒鳥を継がれたのですが、学校を出てすぐに継いだわけではありません。ご本人いわく「まぁ、ひとことで言うと、職を転々としたんですわ（笑）実は、一度、継ごうとした時もありましたが、工場が狭いとかなんとかで嫌になってすぐやめたんです。あの頃は何にもわかってませんでした。そもそも、仕事というものについてすらわかっていませんでしたから（笑）」

しかし、職を転々としたと言って頭を掻いておられますが、お話をうかがっていると、どの仕事でも興味を持って突き詰めようとした結果「あれもやりたい、これもやりたい」となったのだということ。つまり「転々」ではなく「変遷」あるいは「ステップアップ」。

ある時のこと、お父さんが引退する決意であることを知り「これはいかん！親父の技術や、鍛冶屋の文化が絶えてしまう！」と感じた梶原さんは、当時従事していた畜産会社を辞め、本格的にお父さんの下に弟子入りしたのでした。

「それまで、やりたいこと、突き詰めたいことが、ぶれまくっていたのに、鍛冶屋を継いでからは不思議と全くぶれなくなりました」という梶原さん。

技術をさらに突き詰めていくこと以外に大切にしていることがあります。それは、お客さんのニーズをしっかり把握すること。そのためには徹底したヒヤリングが欠かせません。お客さんと向き合って、求める重さ、厚み、手のなじみ方などを聞き取る。「やっぱり、お客さんが喜んでくれた時が一番うれしいですよ。〝役に立ってる！〟って実感します！」

冒頭の「ご近所の方がお一人、またお一人…」の理由がよくわかりました。きっと、地域住民の方も「助かってる！」って実感しておられることでしょう。

梶原（かじわら） 弘資（ひろし）さん
（本堂）

秋の叙勲

濵辺さんは、昭和58年に高知市議会議員に当選以来、7期28年間議員として在職し、高知市議会議長をはじめ、全国市議会議長会副会長、四国市議会議長会会長など多くの役職を務め、長きにわたり防災対策や南海トラフ地震対策、少子高齢化対策などに尽力された功績が称えられ受賞されました。

現在は、志和地区の自主防災組織の会長として、地域の防災意識の向上、2か月に1度発行の防災新聞作成などの活動を行っています。今後も市議会活動を通して得た経験を活かし、志和地区で頑張りたいと話していました。

旭日小綬章

濵辺 影一（70歳）

受賞おめでとうございます

法務大臣表彰

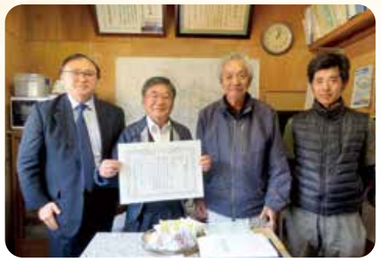
平成30年度高知県更生保護事業功労者顕彰式典にて、多年にわたり罪を犯した人々の改善更生と犯罪の予防に尽力した功績が顕著であり、他の模範として推奨するに値するとして、壬生直德保護司（七里）と松下陽子保護司（久保川）が法務大臣表彰を受けました。

高知県社会福祉事業関係者知事表彰

【表彰種別】民生委員・児童委員

第69回高知県社会福祉大会にて、民生委員、児童委員として長年にわたり地域住民の身近な相談相手となり、社会福祉の増進に尽くした功績に対し、小野川益基さん（浦越）が高知県社会福祉事業関係者知事表彰を受けました。

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」中国四国農政局長賞受賞
（株）サンビレッジ四万十

「ディスカバー農山漁村の宝」は、「強い農林水産業」、「美しく活力のある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有する資源を生かし、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を農林水産省が選定し、全国に発信するものです。

11月22日、（株）サンビレッジ四万十が中国四国農政局長賞を受賞し、農林水産省のホームページを通じて、活動の紹介やさまざまなイベントへの出展など、全国に情報発信が行われます。